

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和7年3月28日17時00分
近畿地方整備局
道路部
防災室・災害対策マネジメント室
福井河川国道事務所

おおの かみはんばら
国道158号 大野市 上半原(福井県管理)の斜面崩壊に対する
国土交通省の支援状況について【第3報】

3月19日に発生した福井県管理の国道158号大野市上半原における大規模な斜面崩落<参考①>に対して、国土交通省より、以下の支援を実施しております。

<国土交通省の主な支援状況> ※下線部は【第2報】からの更新箇所

- 被災状況の把握や今後の対応にかかる福井県との迅速な連絡調整を図るため、福井県奥越土木事務所にリエゾン(職員)のべ2名を派遣(3月21日で撤収)
- 被災状況の把握や二次災害の発生を防ぐため、Ku-SAT(衛星通信機器)を使用し、衛星通信回線を活用した監視体制を国、福井県、大野市で構築
これにより、遠隔での常時監視や福井県が実施するドローン調査についてリアルタイムにそれぞれの機関で確認可能
- 3月21日に福井県が実施した専門家による現場視察には、リアルタイムの被災状況把握、関係機関の連絡調整等が円滑に行えるよう、複数キャリア対応(docomo,au,softbank)の映像配信システムを活用したライブ中継を通じて、国土技術政策総合研究所や土木研究所等も参画し、技術的支援を開始
- また、3月28日に福井県が設置した対策検討会<参考②>に国土交通省職員も参画し、斜面崩落メカニズム、応急対策の方針等について、技術的助言を実施
なお、応急対策として福井県が検討中の迂回路については、以下の支援を実施予定
 - ・ 整備中の中部縦貫自動車道の事業用地等を活用
 - ・ 災害応急組立橋<参考③>を2橋貸与

引き続き、福井県の意向を踏まえ、被災箇所の早期復旧に向け、災害対策用機械の提供や技術的支援を展開してまいります。

なお、斜面崩落に伴う通行止めにより、福井県・岐阜県境が通行不可となったため、中日本高速道路(株)などの関係機関と連携して、道路情報板にて広域迂回を促す情報提供を実施しています。

<取扱い>

<配布場所> 福井県政記者クラブ、近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 道路部 地域道路課
地域道路調整官 藤田 晶久(ふじた あきひさ)
課長 東岡 正樹(ひがしおか まさき)
電話 06-6942-1141(代表)

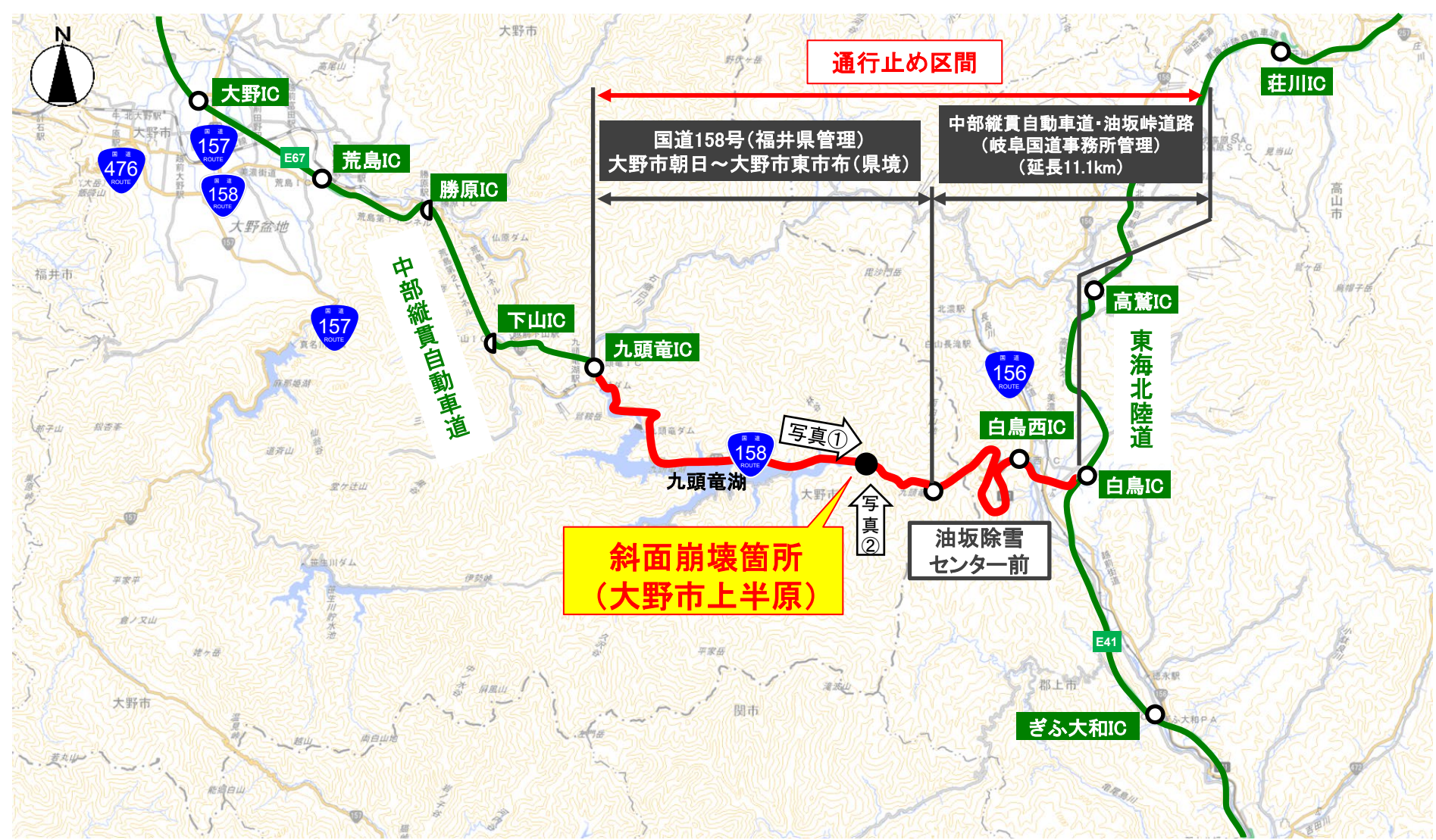
<参考①> 国道158号の被災状況(福井県大野市上半原)

R7.3.28 現在

位置図



- 被災状況
- ・発生日時: R7.3.19 5:20頃
 - ・原因: 法面崩壊
 - ・人身・物損被害: 人身無、物損有(電柱)
 - ・迂回路: 有(広域迂回)
 - ・孤立集落: なし



- 経緯
- 3/18(火) 11:30～全面通行規制
 - 3/19(水) 5:20 ～ 大規模崩壊が発生
 - 12:00 福井県が当該事象について記者発表
 - 17:45 近畿地方整備局が支援体制の記者発表
 - 21:00 衛生通信機器(Ku-SAT)設置完了
 - 3/21(金)13:30 現地視察(福井大学荒井特命教授、国、福井県、※国総研・土研はWEB)
 - 15:00 対策検討 参加者同上
 - 19:30 福井県が現地視察及び対策検討の実施について記者発表
 - 19:30 近畿地方整備局が支援体制【第2報】の記者発表(別添)
 - 3/25(火)15:00 福井県が3/28第1回対策検討会開催について記者発表
 - 3/28(金)13:30～ 第1回対策検討会開催



【写真①】福井県側より撮影



【写真②】正面より撮影

令和7年3月28日

福井県 道路保全課

担当者： 山田、今井
電話： 0776-20-0514
メール： dourohoz@pref.fukui.lg.jp

一般国道158号（大野市上半原地係）の斜面崩壊に関する第1回
対策検討会 結果概要

令和7年3月19日（水）に発生した一般国道158号（大野市上半原地係）における大規模な斜面崩壊に関して、今後の復旧対策等を検討するため、本日、第1回対策検討会を開催しましたので、結果概要をお知らせします。

1. 日 時
令和7年3月28日（金）13：30～14：50
2. 場 所
福井県庁 2階中会議室 （福井市大手3丁目17番1号）
3. 出席者
荒井 克彦 （福井大学 名誉教授）
桑原 正明 （国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部
道路基盤研究室 室長）
浅井 健一 （土木研究所 地質・地盤グループ地質チーム 上席研究員）
伊藤 征毅 （国土交通省 近畿地方整備局福井河川国道事務所 副所長）
三田村 佳紀 （福井県 土木部 副部長）
室田 正雄 （福井県 奥越土木事務所 技術次長）（所長代理）
4. 議 題
・斜面崩壊の発生機構（メカニズム）について
・応急対策の方針について
・今後の調査、モニタリングの方針について
・今後のスケジュールについて
5. 結果概要
・別紙のとおり

一般国道158号（大野市上半原地係）の斜面崩壊に関する
第1回対策検討会 結果概要

- 1 日時 令和7年3月28日（金） 13:30～14:50
- 2 場所 県庁2階 中会議室
- 3 出席者 <委員>
- 荒井 克彦 （福井大学 名誉教授）
- 桑原 正明 （国土技術政策総合研究所 道路構造物
研究部道路基盤研究室 室長）
- 浅井 健一 （土木研究所 地質・地盤グループ地質チーム
上席研究員）
- 伊藤 征毅 （国土交通省 近畿地方整備局福井河川国道事務所
副所長）
- 三田村 佳紀（福井県 土木部 副部長）
- 室田 正雄（福井県 奥越土木事務所 技術次長）（所長代理）

4 議題

- ・ 斜面崩壊の発生機構（メカニズム）について
- ・ 応急対策の方針について
- ・ 今後の調査、モニタリングの方針について
- ・ 今後のスケジュールについて

5 結果概要

- ・ 斜面崩壊の発生メカニズムについて、崩壊箇所は地下水が集まりやすい凹地地形であったため、融雪により地下水が上昇し、斜面下段での小規模な表層崩壊が発生した。これにより斜面の下部や側面の支えを失ったことによって、斜面全体の大規模な崩落が発生した可能性が高いことが確認された。
- ・ 今後の斜面調査やモニタリングの実施については提案された方向性で妥当である。
- ・ 夏休み前までの開通を目指して、河川左岸側（中部縦貫自動車道事業用地を含む）に仮設道路（迂回路）を設置し、仮橋2橋を含む盛土構造案とすることについては妥当であると考えられる。
- ・ 仮橋2橋については、国が保有する応急組立橋の活用を踏まえた検討を実施していくことについて確認された。
- ・ 本復旧については、ボーリング調査などの斜面調査の結果を踏まえ、対策を検討することとされた。
- ・ 今後のスケジュールについて、本復旧に向けた対策を検討のうえ、次回検討会を開催することで了承された。

以上



写真 1. 第 1 回対策検討会 開催状況

一般国道158号（大野市上半原地係）の斜面崩壊に伴う仮設道路の設置について

イメージ図

一般国道158号は、大野市と岐阜県郡上市を結ぶ緊急輸送道路である。今回の斜面崩壊により、通行不能となっており、周辺に迂回路がないため、早急に仮設道路（迂回路）の設置を行う。
(交通量：約2,800台/日 (R5.11))



<参考③>災害応急組立橋

- 災害により道路や橋梁等の損壊が発生した場合に、一時的に代替交通路を確保するための応急橋梁
- 各部材は事前に製作済みで、格納場所から被災現場へ運搬し、ボルトの締結によって必要な橋長・幅員を確保

■ 応急組立橋の主なメリット

- 落橋等による道路交通障害を、短期間で復旧（通行可能）できる。
- 特殊な技能を要する事なく、各部材の組立・被災現場での架橋作業が実施できる。
- 大型車両の通行も可能で、幅員の調整、歩道として運用など柔軟に対応できる。

平成23年（台風12号）：国道169号（奈良県吉野郡川上村迫）



平成25年（台風18号）：国道162号（京都市右京区下弓削町）

